

[講演要旨] 東京の街に残る関東大震災の跡

小堀鐸二研究所* 武村雅之

関東大震災から今年で 87 年が経過し、体験の風化どころかその痕跡さえも忘れ去られているようである。ところが注意深く街を歩いてみると、様々なところにその跡が残されている。これらを社会が認知すれば、防災意識の向上につながるかと考えた。そのために、23 区内をくまなく歩き調査した。訪れた地点は 137 地点にのぼる。

対象は A.慰霊碑 52 件、B.記念碑 28 件、C.死者 100 人以上を出した場所 15 地点と逆に D.多くの避難者の命を救った場所 16 地点。E は震災での破壊や再生に関するエピソードを伝えるもの 40 件、F は復興過程で生まれた建物や施設 15 件である。

一方、帝都復興事業は、東京に明暦の大火(1657 年)以来、実に 270 年ぶりにお寺の大移動をもたらした。その結果、江戸の多彩な文化が郊外各地に拡散した。移動したお寺のほとんどは、本所、浅草、下谷、築地にあつたもので、大口は築地本願寺や浅草本願寺、さらに浅草誓願寺の塔頭と本寺である。G は大移動で生まれた新寺町や郊外で江戸の文化を今に伝えるユニークなお寺 20 件である。

そして、最後に H として、関東大震災以前から江戸・東京をたびたび襲った自然災害についての記念碑や遺構 23 件も調査した。関東大震災が初めての災害ではなく、過去の災害経験が生かされていなかったことが、関東大震災の被害をより大きくしたことを認識することも重要と考えたからである。

以上のものは、全てその後の戦災もくぐり抜けて今日まで生き延びた貴重な災害遺産である。



関東大震災はじめて歴代の災害の犠牲者を祀る両国回向院の万人塚

23区内にある慰霊碑(分類 A)の一覧表

所在地・施設	震災関連物名称	区	町丁目	建立・組織(由緒)	建立・建設年	由来説明
横綱町公園	東京都慰霊堂	墨田区	横綱一丁目	東京震災記念事業協会(後科「伊東東大」)落成式	1930(昭和5)9月	本朝(戦災記念堂。1931(昭和6)年から東京都慰霊堂として戦争犠牲者を合祀)
横綱町公園	震災遭難児童像	墨田区	横綱一丁目	市内小学校長会が新築家小倉右一郎に依頼作成、除幕式	1931(昭和6)5月9日	戦争による金銭難出で台座だけとなり1961(昭和36)年に小倉氏の孫により完成
横綱町公園	幽霊像	墨田区	横綱一丁目	中国仏教徒から寄贈、始建式	1930(昭和5)10月	中国民団は震災に同情、特に仏教徒は「佛教普救白災言」を組織して各地で空襲被害者の慰霊者を水増しするための冥契が寄贈された
横綱町公園	関東大震災朝鮮人犠牲者追悼碑	墨田区	横綱一丁目	関東大震災朝鮮人犠牲者追悼実行委員会	1973(昭和48)9月	震災直前による朝鮮人犠牲者千名を祀る追悼碑
横綱町公園	石原町遺骸者碑	墨田区	横綱一丁目	石原町町会	1924(大正14)9月	町民約200人中7000人の犠牲者を出すその追悼碑、1931(昭和6)年8月にこの地に移葬
横綱町公園	慈光院(本尊)	墨田区	横綱一丁目	築地本願寺	1828(昭和3)9月	本願寺は震災は違言を奉入(曹山)に併設の江戸支那幼稚園は震災後、築地本願寺が開校した梵光所が起源
本所警察署	相生警察署殉職者	墨田区	両国四丁目	本所両国警察署一同	1933(昭和8)9月	震災殉職者34名の100忌に建立。加えて1978(昭和53)年度殉職者18名を合祀
本所警察署	本所原宿警察署殉職者追悼碑	墨田区	両国四丁目	本所原宿警察署	1924(大正13)9月	震災殉職者15名の100忌に建立。加えて1984(昭和59)年明治50年現代の殉職者29名を合祀
回向院	万人塚	墨田区	両国二丁目	震災記念堂の遺骨を分骨し回向院に納骨(東京市市)	1925(大正14)9月	両国町会の大震災追悼会館の敷地の供養。被災犠牲者の多くが記念堂より分骨された。当時現在本堂内の震災追悼会館の地下に地蔵堂があり、毎週土日に墨田区立斎場にてお供えしている
回向院	石地蔵(万人塚上)	墨田区	両国二丁目	地蔵主は割捨のため不明	1924(大正13)年	19年余の間の犠牲者の供養。近郊の原宿に建立された石地蔵に代わり、石地蔵が一定数並ぶとの記録もある
香妻橋栄地蔵	あづま地蔵尊	墨田区	香妻橋一丁目	墨田区香妻橋一丁目町会	1966(昭和41)4月	震災と戦災の犠牲者の供養
両国公園入口	富田木歩終焉の地標柱	墨田区	向島一丁目	墨田区	1989(平成元)年3月	戦災殉難で富田木歩(富田)の終焉地。木歩は北東区平井の職場で勤務していた
三國神社	富田木歩追悼石碑	墨田区	向島二丁目	新井登壇はじめ木歩の友人一同	1924(大正13)9月	木歩が被災後、戦災で亡くなった。木歩の友人らにより追悼石碑が建てられた
木母寺(天台宗)境内入口	大正東火災犠牲者追悼之碑	墨田区	堤通二丁目	50世東光光成(先々代)に賛助者・発起人96名	1923(大正13)9月	震災一周年の碑。由来不明(戦後継承)。木母寺は現在「兩国町」の地蔵堂跡で有名。昭和51年に東京消防災災事業のため移築された(移)
横川橋東詰	遭難者追悼碑	墨田区	横川一丁目	横川、墨田、豊島など周辺の355名(享年も含む)	1934(昭和9)9月	横川橋は東2の罹災記録とされている
横川橋東詰	遭難者追悼之碑	墨田区	本所四丁目	(東京市長永田秀次郎書)	1931(昭和6)9月	横川橋は東2の罹災記録とされている
NTT墨田電話局	烈害堂	墨田区	石原四丁目	墨田電話局	1958(昭和33)3月	昭和20年3月9日の空襲による31名と震災による25名(昭和20年)の犠牲者を祀る。吉川東海自衛隊の碑文が読み取れる
宣雲寺(臨済宗)	殊死者記念碑	江東区	白河二丁目	深川区東大工町三丁目	震災後	震災後、宣雲寺の労働者が遭難者36名の追悼で「殊死者」の追悼がなされた。1993年に犠牲者の名前が追加されている
浄心寺(日蓮宗)	鹿嶋塔	江東区	平野二丁目	東京英学校大田町三丁目	1925(大正14)9月	浄心寺の境内には臨時火葬場とあり、多数の遺体(死者約200名)が埋葬された(大正14年2月)。大正12年10月に深川区主座の大震災被災者追悼会が設立された
浄心寺蔵魂塔前	殊死者慰霊塔	江東区	平野二丁目	浄心寺総代目齋藤大太郎	1972(昭和47)9月	50回忌供養で建立。他に大震災無縁供養会が建てられた。震災に遭った対応に災難犠牲者慰霊塔がある
浜海橋第2児童遊園	横死者供養塔	江東区	東横三丁目	高野山金剛院員34名	1935(昭和10)9月	13回忌供養。詳細不明
亀戸浄心寺(浄土宗)	横身事件犠牲者之碑	江東区	亀戸四丁目	高野山金剛院員建碑実行委員会	1970(昭和45)9月	震災後、再建の際の労働者が遭難者36名の追悼で「横身事件」の追悼がなされた。1993年に犠牲者の名前が追加されている
上野公園	時忘れの塔	台東区	上野公園	初代林三三平女、海老名春葉、若木三郎	2005(平成17)年3月	震災直後に建てられた。被災者や犠牲者の追悼の塔として建てられた
浄念院(天台宗)	同業者殉難碑	台東区	上野桜木二丁目	東京副子明市用購買部宛宛給合合3団体	1924(大正13)8月	八王子市の地震建設の組織の中心に当たる。浄念院にはかつて江戸六地蔵の一つの代次(彌生)の地蔵像がある
新吉原花園池跡	遭難記念録	台東区	千草三丁目	(東京市長永田秀次郎書)	1928(大正15)年	井ノ巻の遭難者追悼の記念碑
新吉原花園池跡	十周年記念月桂樹	台東区	千草三丁目	水原権 伊藤高	1932(昭和7)9月	7回忌の供養のため遭難者による追悼碑
新吉原花園池跡	十七回忌追善塔	台東区	千草三丁目	伊藤善吉他6名	1940(昭和15)2月	80年間の供養のため。昭和15年頃まで21名の名が刻まれている
新吉原花園池跡	八十周年記念碑	台東区	千草三丁目	田新吉原池跡にある7町会	2003(平成15)10月	80周年の供養のため。昭和15年頃まで21名の名が刻まれている
浄閑寺(浄土宗)	新吉原原級堂	荒川区	南千住二丁目	無縁の遺骨を葬る墓として建立	1793(寛政5)年	安政2年の地震の際に罹った災害の追悼。震災(1855)と昭和(1923)を襲った。関東大震災の吉原公団の犠牲者を祀る
満光寺(浄土宗)	子育て地蔵	荒川区	荒尾久三丁目	千草幼幼部	震災後	震災直後の工事を請負った震災犠牲者の追悼に巻く
真光寺(真言宗)	遭難者供養塔	墨田区	三輪三丁目	佐安堂太郎他住居など約200名	1924(大正13)3月	震災直後の工事を請負った震災犠牲者の追悼に巻く。追悼委員会20名の名が刻まれている。追悼に巻く
新亀島橋西詰	遭難者追悼碑	中央区	日本橋茅場三丁目	島島橋河岸米穀商談話会	1924(大正13)9月	月島で被災した。被災者、罹災者の追悼。震災直後の工事を請負った震災犠牲者の追悼に巻く。追悼委員会20名の名が刻まれている。追悼に巻く
月島橋東詰	横死者追悼之塔	中央区	月島四丁目	住民13名	震災直後	月島で被災した。被災者、罹災者の追悼。震災直後の工事を請負った震災犠牲者の追悼に巻く。追悼委員会20名の名が刻まれている。追悼に巻く
海蔵寺(時宗)	黄死者霊供養塔	品川区	南品川四丁目	品川区の各宗派の寺院共	1932(昭和7)10月	品川區内に罹った数十体の遺体を前夜に埋没するに当たって、品川区の各宗派の寺院が共同で建立した追悼塔
海蔵寺(時宗)	無縁合葬供養塚	品川区	南品川四丁目	46世僧院院第阿彌山代復元院	1978(昭和53)3月	元品川区の年度で亡くなった人々の追悼。震災(1855)と昭和(1923)を襲った。地震、事故、天災など様々な無縁の遺骨を集める。「御供養」も併記される
大経寺(日蓮宗)跡ヶ線前増道跡	殊死者供養塔	品川区	両大井二丁目	大井町築業組合と増道町町会	1935(昭和10)9月	大井町の海岸に墜した77遺体の13回忌の供養のため。震災後の日本の労働者数が減ったこと
行元寺	横死者供養塔	品川区	両五反四丁目	信長時代の和井田本太郎	1925(大正14)5月	震災直後の工事を請負った震災犠牲者の追悼に巻く
大林寺	供養塔	大田区	大森中二丁目	地元住民約40名(前方請)	1929(昭和4)9月	震災直後の工事を請負った震災犠牲者の追悼に巻く
安養寺	横死群霊供養塔	大田区	西六橋二丁目	平林幸太郎	1929(昭和4)9月	震災直後の工事を請負った震災犠牲者の追悼に巻く
池上本門寺	殊死者之霊供養塔	大田区	池上一丁目	池上地区の各宗派の寺院共	震災後	震災直後の工事を請負った震災犠牲者の追悼に巻く
常福寺(浄土宗)	法界萬霊供養塔	墨田区	北島山二丁目	島山移転して建立	1928(昭和3)9月	震災直後の工事を請負った震災犠牲者の追悼に巻く
鳥山神社	椎の木	墨田区	南島山二丁目	地元の氏民	震災後	震災直後の工事を請負った震災犠牲者の追悼に巻く
円福寺(日蓮宗)	山椒の墓	杉並区	松ノ木三丁目	縁吉三郎(後藤草津亭)	1931(昭和6)年	震災直後の工事を請負った震災犠牲者の追悼に巻く
円明院(真言宗)	大震災殊死者追悼碑	練馬区	練一丁目	上毛セゾン・練馬工場従業員	1924(大正13)9月	上毛セゾン・練馬工場(現在の練馬区)で被災した。震災直後の工事を請負った震災犠牲者の追悼に巻く
寿徳寺(真言宗)	慘死土舎霊塔	北区	通野川四丁目	23世宮宮工(住職)	1935(昭和10)年	1935(昭和10)年に建立した無縁塔と地蔵
満願寺(真言宗)	横死者群霊供養塔	足立区	東原三丁目	團次	1972(昭和37)年	東京練馬区新井工場の(ちひな)の犠牲者43名の追悼に1924(大正13)年9月に行われた追悼に巻く
東陽寺(曹洞宗)	横死遺骨合葬塔	足立区	東原四丁目	24世内院院次	1985(昭和60)年	田所在地の遠草原町で震災により犠牲者となった遺骨を合葬した追悼塔
東江寺(天台宗)	大震災殊死者追悼碑	葛飾区	東金町二丁目	松島會々員一同	1924(大正13)9月	当時の追悼者追悼とある。先々の追悼塔か?詳細は不明
妙源寺(日蓮宗)	六代目武蔵屋金藏之碑	葛飾区	堀切三丁目	八世金藏建碑(七世、加藤栄書)	1955(昭和30)9月 1928(昭和4)9月	災害救援で東上り、震災時、善導寺4番で被災した。震災直後の工事を請負った震災犠牲者の追悼に巻く
大雲寺(浄土宗)	本尊阿弥陀如来	江戸川区	両堀江二丁目	一周忌追善のため再建立	1924(大正13)9月	一周忌追善のために、震災直後に再建立された
嚴勝寺(天台宗)	富田木歩の墓	江戸川区	伊井一丁目	荒井登壇次郎代	震災後	富田木歩の墓。富田木歩の追悼に巻く

* 〒107-8502 東京都港区赤坂 6-5-30